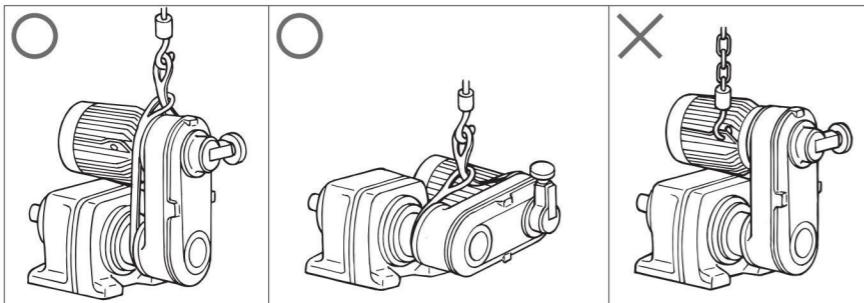


正しい使い方

■ 運搬

- 1 本機をクレーンなどで吊り上げる場合は、減速機の接続フランジ部または減速機およびモータの接続フランジ部の両方にロープ掛けしてください。モータ用フックだけを利用して吊り上げることは絶対に行わないでください。
- 2 TM型およびZタイプはモータの重みによりモータ側へ倒れやすいため、モータの下へ適当な長さの支えを当ててください。



■ 据付け

周 围 条 件	周 围 温 度	-10°C~40°C
	湿 度	95%RH以下
	高 度	標高1000m以下
	設 置 場 所	屋内
	霧 囲 気	腐食性ガス、爆発性ガス、蒸気がなく、塵埃が少ないと 水や油がかからないこと

- 1 周囲温度が40°Cを超える場合は、本機前面に貼付けしてある円形シール(1枚)と変速機本体裏側下のシール(2枚)をはがし、内部熱を放散させてください。
- 2 爆発性ガス、蒸気が発生するおそれがある場合は「安全増防爆モータ付き」をご使用ください。ただしモータ以外の変速機部および減速機部は完全な防爆構造にはなっておりません。
- 3 据付けの台、ベースは肉厚のある頑丈なものを使用し、ボルト4本で確実に取り付けてください。また、振動の激しい場所に据え付けないでください。
- 4 本機内部へ油がたれ込むおそれがある場合は、油たれに対する防護カバーを設置してください。ベルトとブーリの接触面に油が付着すると、ベルトがスリップして異常発熱やベルトの早期切れの原因となります。
- 5 グリース潤滑の減速機付き機種は据付け方向が自在ですが、オイル潤滑の減速機付き機種は据付け角度によって給油口の位置変更やオイル量の調整などが必要です。斜面、壁面や天井面に取り付ける場合は事前にご相談ください。
- 6 変速ハンドルや本機ハウジングの取付角度を変更する場合およびモータ端子箱の位置を変更する場合は、落下防止のためそれぞれのフランジ面を本機ハウジングから離さず、つけたまま回すようにして行ってください。

■ 相手機械との連結

- 1 出力軸にチェーンスプロケット、ギヤ、ブーリを取り付ける場合は、オーバーハングロードがカタログ記載の許容値を超えないようにしてください。また、出力軸に無理な荷重をかけないため、取付け位置はできるだけ軸の根元に近づけてください。
- 2 出力軸と相手機械を直結する場合は芯出しを確実に行ってください。当社の精密軸継手シリーズをご利用になれば、簡単な芯出し作業で確実な連結ができます。
- 3 相手機械との連絡にVベルト、タイミングベルト、チェーンを利用する場合は、巻込まれを防止するための安全カバーを走行部に必ず取り付けてください。また、テンションは指で押さえて5mmたわむ程度が適当です。強く張り過ぎると軸折れにつながります。
- 4 本機出力軸を下向きにして相手機械と連結し相手軸からスラスト荷重を受ける場合は、あらかじめ相手機械側にスラスト荷重を防ぐ手段を講じてください。

■ 運転

- 1 正転・逆転を行う場合は必ず本機を一旦停止させてください。また起動、停止の頻度は6回／分以内にしてください。
- 2 相手機械と連結する前に本機単体で無負荷運転を行い、最低速から最高速まで徐々に回転を上げながら運転音や振動、発熱などに異常がないか確認してください。また回転方向も確認してください。
- 3 モータ停止中は絶対に変速ハンドルを回さないでください。
- 4 ウォーム減速機付き機種はまず無負荷に近い状態で運転を始め、減速機の歯当りのなじみがすんだところで負荷を大きくしてください。

■ 運転

- 5 本カタログに記載の出力軸回転数は、全負荷時の回転数を表しています。最低速および最高速の回転数が正しくでいるか確認してください。

変 速 比	最 低 速		最 高 速
	1:5.5	モータ全負荷時回転数× $\frac{1}{6}$ ×減速比	モータ全負荷時回転数× $\frac{4}{3}$ ×減速比
1:4			

- 6 本機は瞬間的な過負荷に対して定出力特性を発揮する大きなトルク伝達力を持っていますが、常用負荷については定トルク特性でご使用ください。
- 7 本機を最高回転数で負荷運転を行い、その負荷がモータの容量以内にあるかどうか確認してください。
- 8 減速機がオイル潤滑方式の機種については、運転開始前に潤滑油が油面計の中央まで入っていることを確認してください。

■ 保守・点検

- 1 減速機がオイル潤滑方式の機種については、必ず定期的にオイル交換を行ってください。
- 2 グリース潤滑の減速機付き機種はグリースの交換や補充の必要はありませんが、減速機を長持ちさせるために交換を行う場合は、1万運転時間を目安にしてください。

■ 使用ベルト

■ 種類

幅広コグVベルト 全機種

■ ベルトNo.の表示

S 3130

Ⓐ	上幅 31mm
Ⓑ	内周長 30インチ

■ ベルトNo.の確認方法

交換用のコグVベルトをご注文いただく際は、つぎのいずれかの方法でベルトNo.をご確認ください。
 1 ベルト外周面に印刷してあるベルトNo.で確認
 2 本機に貼付けしてある銘板から確認(ベルトNo.表示)
 3 使用ベルトの上幅と外周長を測り、下表からベルトNo.を確認

■ 使用ベルト一覧表

ベルトNo.	上幅 (mm)	外周長 (mm)	ベルトNo.	上幅 (mm)	外周長 (mm)	ベルトNo.	上幅 (mm)	外周長 (mm)
S1313	13	364	S2020	20	562	S3430	34	823
S1314	13	392	S2023	20	619	S3432	34	867
S1316	13	438	S2025	20	681	S3434	34	916
S1318	13	485	S2523	25	632	S3437	34	1017
S1515	15	419	S2525	25	683	S4535	45	969
S1516	15	449	S2526	25	722	S4539	45	1070
S1517	15	477	S2528	25	760	S4542	45	1136
S1519	15	510	S3126	31	725	S5244	52	1223
S1520	15	549	S3128	31	758	S5247	52	1283
S1522	15	608	S3130	31	823	T5652	57	1445
S2018	20	502	S3132	31	867	T6261A	64	1685
S2019	20	528	S3136	31	967	T6782	70	2153

□一覧表に記載のベルトは常時在庫している即納品です。

□TP型に使用するベルトは他にもご用意できます。